

たくさんの人
が「同じことを考え」ていても
各自自分の考えを出し合うと
当然ひとりひとりの表し方は違うから
その場にたくさんの、少しずつ「違う考え方」が集まってくる
そうすると
ひとりひとりが、出てきたたくさんの考え方を自分なりにまとめて
各自それなりに納得できる「私の今の考え方」にたどり着く
ひとりひとりの「今の考え方」は
いざまた
たくさんの人たちの考え方や新しい見方に触れて考え方直されて
変わってゆくし、多分、もっと良くなる
学ぶとは、こういうことの繰り返し
だから、誰でもいつでも学んでいるし
誰の学びにも終わりがない

三宅 なほみ

自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト
平成23年度活動報告書
「協調が生む学びの多様性 第2集—新しいゴールへ向けて—」

執筆・編集 三宅なほみ、飯窪真也、齊藤萌木、坂本篤史、森田智幸

平成24年3月10日

この報告書に関するご意見・ご感想をお待ちしています

連絡先

東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 大学院教育学研究科 気付
TEL 03-5841-3682 Email info@coref.u-tokyo.ac.jp